

平成 27 年 度 教 育 研 究 業 績 書

氏名 正司 哲朗

最終学歴	龍谷大学大学院理工学研究科電子情報学専攻博士課程後期	
取得学位	博士（工学）	
所属学会	電子情報通信学会、情報処理学会、地理情報システム学会、教育システム情報学会、日本教育工学会、バーチャルリアリティ学会、日本モンゴル学会	
専門分野	情報メディア、画像処理、デジタルアーカイブ、情報考古学	
研究課題	文化遺産を対象としたデジタルアーカイブに関する研究	
授業科目	学部担当科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複合現実感と社会(mixed reality)(前期)</li> <li>・情報基礎理論I（前期）</li> <li>・情報基礎理論II（後期）</li> <li>・情報学(後期)</li> <li>・プログラミング言語II(後期)</li> <li>・情報工学（後期）</li> <li>・演習I・II・III・IV（前期・後期）</li> </ul>
	大学院修士課程担当科目 （博士前期課程含）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報処理論特殊講義（一）（二）</li> <li>・情報学特論I・II</li> </ul>
	大学院博士後期課程担当科目	担当なし
	通信教育部担当科目	・情報処理
【研究上の特記事項】	<p>(1) 科学研究費補助金 若手研究(B) 研究代表者 「時系列幾何情報を用いた大規模遺跡の3次元計測とデジタルアーカイブへの応用」</p> <p>(2) 科学研究費補助金 基盤研究(C) 研究分担者 「社会学的知見に基づくWeb調査の代表性の分析」</p>	
【教育上の特記事項】	<p>(1) 奈良大学における情報教育基盤の整備</p> <p>(2) 奈良大学博物館の企画展示「モンゴル国の遺跡調査とデジタルアーカイブ」</p> <p>(3) 奈良大学図書館の企画展示「奈良絵本「花鳥風月」と「文正草子」付、「大織冠」」においてデジタル奈良絵本の開発</p> <p>(4) 奈良大学図書館の企画展示「モンゴル国の遺跡調査とデジタルアーカイブ」</p>	
【社会的活動】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・奈良大学地域連携教育研究センター</li> <li>・だんじりを活かした地域共働事業実行委員会</li> <li>・モンゴル国立カラコルム博物館</li> <li>・名張歴史読書会</li> </ul>	
【学内活動】 (学内職歴を含む)	国際交流委員、学科予算委員、全学ネットワーク委員、社会学部実習室管理委員、奈良大学地域連携教育研究センター運営委員など	

研究業績[著書、学術論文等]				
著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(学術論文)				
①遺跡・遺構の3次元計測技術とその展望	単著	2015年6月	考古学ジャーナル、No.672、ニュー・サイエンス社	遺跡・遺構の3次元計測技術、および活用事例、展望などを論説した。(pp.5-9)
②ヘルレンバルスホト1の仏塔 デジタルアーカイブと応用	共著	2016年3月	日本モンゴル学会紀要、第46号	契丹(遼)時代に建立されたと言われるヘルレンバルスホト1の仏塔を調査し、デジタルアーカイブするとともに、年代測定を行い、17世紀頃の仏塔である可能性が高まった。また、デジタル化した仏塔の応用事例を示した。
(学会発表)				
①モンゴル国の遺跡デジタルアーカイブと仮想空間の構築	単著	2015年6月	FARO 3D User Conference Asia Pacific 2015	モンゴル国の遺跡調査概要、3次元計測装置の利用事例、仮想空間の構築結果などを発表した。
②Digital Archives and Consideration for the pagoda in Kherlenbars town1	単著	2015年8月	第5回博物館と発展シンポジウム2015 (カラコルム博物館)	契丹(遼)時代と言われていたヘルレンバルスホト1の仏塔をデジタルアーカイブし、建立した時期の考察結果について発表した。
③モンゴル国における17世紀の寺院跡Sardgiin khiidのデジタルアーカイブ	共著	2016年2月	第17回北アジア調査研究報告会	17世紀にザナバザルによって、モンゴル国に建立された寺院跡をデジタルアーカイブした成果と活用事例を報告した。(pp.70-73)

(その他)				
①図録「モンゴル国の遺跡調査とデジタルアーカイブ-8世紀から17世紀までの城郭都市・寺院・仏塔のデジタル展-」		2015年7月	奈良大学博物館	2009年から2014年まで、モンゴル国で行われた考古学的調査、およびデジタルアーカイブに関する成果をもとに、3Dプリントによる複製を作成し、デジタル展示を行った。
②3D Measurement for Digital Arhives		2015年8月	カラコルム博物館 「遺物・遺跡のデジタルアーカイブワークショップ」	世界遺産に登録されているエルデニゾー寺院内で、3次元計測方法について解説し、実際に計測を行い、博物館関係者・研究者らと交流を行った。
③奈良大学博物館でモンゴル遺跡をデジタル化し展示		2015年8月	産経新聞	奈良大学博物館で企画展示「モンゴル国の遺跡調査とデジタルアーカイブ」が紹介された。
④図録「モンゴル国の遺跡調査とデジタルアーカイブ-8世紀から17世紀までの城郭都市・寺院・仏塔のデジタル展-」		2015年10月	奈良大学図書館	2015年7月に奈良大学博物館で展示した内容を縮小したものを図書館で再展示した。
⑤歴史的文化遺産（モンゴル国の遺跡等）のデジタルアーカイブ		2016年3月	名張歴史読書会	モンゴル国、トルファン歴史・日本との関わり、デジタルアーカイブについての概要を講演した。
⑥時系列幾何情報を用いた大規模遺跡の3次元計測とデジタルアーカイブへの応用	単著	2016年3月	奈良大学総合研究所	科研費若手研究(B)の研究成果概要を報告した。(p.12)
⑦トウラ流域の大型城郭都市デジタルアーカイブと構造分析・比較に関する研究	単著	2016年3月	奈良大学総合研究所	2012年度から2014年度奈良大学特別研究研究、2012年・2014年度学術研究振興資金で行われたモンゴル国のデジタルアーカイブ研究成果の概要を報告した。(p.22)
⑧3D計測によるだんじり彫刻の比較調査	共著	2016年3月	平成27年度文化庁地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業「報告書II『だんじりの記録、だんじりの記憶』、だんじりを活かした地域共働事業実行委員会	奄美大島原野農芸博物館、大東市中之町地車保存会、雁屋地車保存会が所蔵しているだんじり彫刻の一部を3次元計測し、3次元形状の特徴を比較調査した。(pp.22-31)